

12月20日開催

車28号 常磐線特急の車掌乗務体制見直しを求める 緊急申し入れ 団体交渉を行う!

1. 運用改正以降、一人乗務において発生した問題・事象及び原因を明らかにすること。

(回答) **乗務体制見直しに伴う問題は発生していない**と認識しているが、引き続き状況は把握していく考えである。

認識合わず!

(組合) 調査はどのように行ったのか。

(会社) 実施日=11月29・30・12月1・7・8・9・13・14日

対象列車=2055・65・67・69・80・90M その他、乗務日報についても集約した。

(組合) 問題は発生していないとの回答であるが、10月27日90Mに乗務中の組合員が乗客から暴力行為を受けている。

ほかにも・・・座席未指定券のお客さまが寝ていて、指定券を購入したお客さまが座れずに立っている。業務連絡証を発行するために巡回ができず、そのために暖房故障の対応ができなかった。

(会社) **一人乗務が原因ではない**。

(組合) サービス品質が低下していないといえるのか。→(会社) 総合的に、認識は変化していない。

(組合) どのようなことであれば問題なのか。→(会社) 一人乗務になったことによる問題は発生していない。

**基本交渉において指摘してきたことが発生している!!
今後も一人乗務化による問題が発生し続けることは明らかだ!**

2. 運用改正以降、全車両巡回できなかった列車・日付・未巡回の号車と、その理由を示すこと。

(回答) 運用改正以降、一部のときわ号においては未巡回車両が発生している日があるが、概ね全車両巡回できていると認識している。

(組合) 未巡回が発生している日とはどれ位あったのか。→(会社) 現在、調査データを集計中である。

(組合) 巡回できない理由は何か。→(会社) 業務量、事象の対応、技量などである。

(組合) 春に行った車内調査から変化したことはあるか。→(会社) 5号車乗務員室でのドア扱いである。

(組合) 5号車乗務員室でのドア扱いは運用改正の目的とは別でよいか。→(会社) そのとおり。

運用改正以降も全車両巡回できない列車は発生している!

3. 「ときわ」の全列車・全区間を二人乗務とすること。

**次期ダイヤ改正において、全列車・全区間を二人乗務とすること!
改正までの間、全列車・全区間に改札行路を設定し乗務させること!**

(回答) 現時点において、一人乗務を基本とした乗務体制を変更する考えはない。

**発生している問題は乗務体制の見直しによるものだ!
会社は発生している問題を正しく把握するべきだ!
あらゆる手段で適正な乗務体制の実現を求め訴えます!**